褥瘡予防研究会

タイトル「科学的介護の導入」

ケアプランサービス清和園　山岡 寛征

令和3年度介護報酬改定の中に、科学的介護の取組の推進と題して「LIFE」を活用する加算が新設されている。その中でも、通所・居住系サービスを対象として「科学的介護推進体制加算」がある。それに紐づくように「褥瘡マネジメント加算」の要件も「LIFE」を2021年度末までに活用するようになってくる。

これは、日本政府の骨太の方針に基づかれるものである。介護分野において「科学的」と聞いてもピンと来ない方も多い。「科学」とは、観測や実験、パターン認識、仮説、予測、そしてまた予測を確かめる観測や実験が行われていくサイクルである。と聞くと、イメージが湧く方も多いと思うが、いわゆる「PDCAサイクル」といえる。

介護現場において、現場単位で実施されている事を業界単位で取り組んでいく方針である。そしてそのプロセスを、明瞭、適切化し再現性の高いものにしなければならない。そのためには、現場から提供されるデータもより高度で的確なものでなければならない。アセスメントの部分である。

褥瘡とは、ご利用者の全身状態からなる声にできない、あるいは出せない苦痛の表出であると考える。我々は、この苦痛を予防し、発生しないケアを提供するための「科学者」といっても過言ではない。